

「なぜ、地域振興に観光が必要なのか」

平成30年
11/29
Thursday
木曜日

【基礎コース】1日目 13:00 ~ 18:00

会場 和歌山県立情報交流センタービッグ・ユー
情報実習室2

13:00~13:10 開塾挨拶、趣旨説明
出口講師 (和歌山大学観光学部観光学科 教授)

13:10~14:10 塾長講演
「選ばれ続ける地域とは？」
~なぜ地域振興に観光が必要なのか?~ 山田桂一郎 塾長
地域振興において観光が果たす役割についてやさしく解説するとともに、選ばれ続ける地域になることの重要性を明らかにしていきます。

14:15~15:25 講師講演
「広域連携の重要性とそれを支える仕組みとは？」
~インアウトバウンド・着地型観光・相互送客の実践~ 東北の事例
株式会社インアウトバウンド仙台・松島 代表取締役/たびすけ合同会社西谷 代表 西谷雷佐講師
「住民の日常」は「旅行者の日常」です。地域の人の暮らしに気持ちよさを商品化することの重要性と、東北において実現した広域での地業連携による相互送客を支える仕組みについて、お話しします。

15:35~16:45 講師講演
「マーケットを捉える仕組みから見える今後の展望」
~気仙沼版DMOによる自主財源と自主自立への道~ 気仙沼の事例
じゃらんリサーチセンター (JRC) 研究員/気仙沼市復興アドバイザー 森成人講師
プロダクトアウト志向から脱却し、マーケットイン志向で商品づくりを行うことが求められています。顧客データベースを構築し、それを活用した商品づくりと地域内経済循環の向上に挑戦する気仙沼の取り組みをご紹介します。

16:50~17:10 論点の整理
コーディネーター：竹林講師 (和歌山大学観光学部観光学科 准教授)
講師：山田塾長、森講師、西谷講師、出口講師、此松講師
講師陣がトークセッション形式でこれまでの論点を整理して、2日目に向けた課題を提示します。

17:15~18:00 塾長講演
「脱B級志向で地域振興！」
~補助金漬け・薄利多売・劣化版コピー事業の決別が地域を強くする~ 山田桂一郎 塾長
本来、価値のあるものを安売りしてはいけません。安易なB級志向は地域を疲弊させます。補助金頼みや先進事例の模倣とも決別し、地域の価値を引き上げる努力を続けるこそが、地域振興を導く最も重要な方策であることを解説します。

19:00~21:00 夕食交流会
夜なべ談義 ■場所：勘八屋 和歌山県田辺市新庄町2926-15

ゲスト講師：森成人氏 じゃらんリサーチセンター (JRC) 研究員/気仙沼市復興アドバイザー

【森成人 もりなるひと】
1999年、リクルート学び事業部に配属後、レッスン情報誌「ケイコとマナブ」事業部、2002年にホットペッパー大阪版の立ち上げ時に営業部リーダーを歴任。2007年に新規事業開発を行い、会社初のCtoCサイト「おしえまなべる」を編集長として開始。その後、リクルート分社後にリクルートライフスタイルでポソル、じゃらんパックなどの新規事業立ち上げ経験をを経て、2013年より経済同友会に所属して、被災地気仙沼の復興計画実現の業務をスタートさせる。主に気仙沼の人材育成や、観光型地産品開発支援や市民観光産業育成事業などの支援をしながら6次産業化などの地域活性化に携わり、DMO構築の具現化の検討を行い、2017年4月からは、DMO法人一般社団法人気仙沼地域戦略の理事、じゃらんリサーチセンター研究員、気仙沼市復興アドバイザーも勤める。
一般社団法人気仙沼地域戦略 <http://k-s-nips.com/>

気仙沼クルーカードのご紹介はこちら

平成30年
11/30
Friday
金曜日

【基礎コース】2日目 10:00 ~ 16:30

会場 和歌山県立情報交流センタービッグ・ユー
情報実習室2、研修室4

10:00~11:00 塾長講演
「マーケティングと地域内循環」
山田桂一郎 塾長
マーケティングと地域内経済循環について解説するとともに、近年の観光関連産業の現状と今後取り組むべき課題・課題を整理します。

11:10~12:00 講師講演
「現状認識とマーケティングの重要性を知る」
講義：山田塾長、西谷講師、森講師
トークセッション
現状認識は充分でしょうか。カンと経験に頼るだけでは現状を正しく認識するのは困難です。顧客のニーズの変化を的確につかむこと、そのためにはマーケティングを正しく理解することが重要であることをトークセッション形式でさくばらにお話しします。

昼食 12:00~13:00 ご自由にお過ごしください (館内にレストラン有ります)

13:00~13:20 講師講義
「地域経済循環分析で見る地域の姿」
講義：出口講師、此松講師
環境省による地域経済循環分析を紹介し、その活用方法を解説します。

13:25~14:05 個人ワーク
環境省による地域経済循環分析を活用して地域の現状を把握します。各自配布されたワークシートを活用し、これまでのカリキュラムで得た知識を整理するとともに、自身の考えをまとめてもらいます。

14:15~15:05 ローカル
カフェ
参加者と講師の意見交換タイム
講師：山田塾長、森講師、西谷講師、出口講師、此松講師
カフェを飲みながら、受講者全員と講師による意見交換を行います。
全員参加のフリットーク

15:15~16:15 塾長講演
「次なる一歩に向けて」
~あなたにできることは何ですか?~ 山田桂一郎 塾長
2日間のカリキュラムを振り返り、ポイントの再整理を行います。どのような地域もさまざまな業種が存在することで成り立っています。一事業部の繁栄だけでは、地域を支えることはできません。また、安心して暮らせる地域からは人口がどんどん流出してしまいます。つまり、どんなに観光地化をめざしても、それが空を飛ばされる地域 (感幸地) でなければ持続可能な取り組みには結果しません。感幸地を観光地にする仕組みを4方良しの持続可能な地域経営を目指しているスイスをロールモデルに考えてみます。

16:20~16:30 閉塾式
閉塾式、基礎コース修了証書授与、記念撮影

ゲスト講師：西谷 雷佐氏 株式会社インアウトバウンド仙台・松島 代表取締役/たびすけ合同会社西谷 代表 和歌山大学大学院非常勤講師

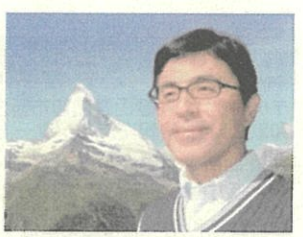
【西谷雷佐 (にしやらいすけ)】
2012年、着地型観光に特化した旅行会社「たびすけ」を創立。「りんご野営体験ツアー」「温泉体験ツアー」「青森県のお前をKIL」等、地域の暮らしに注目したユニークなツアーを多数企画実施。英語と韓国語対応。さらには介護資格を持つスタッフが在籍しており、訪日外国人や車いすの旅行者への観光サポートも積極的に行っています。近年は「着地型観光」「インバウンドとDMO」「観光ガイドとリスクマネジメント」等のテーマにて、全国で講演やコンサルティングを行っています。
2016年、東北の仲間たちと一般社団法人東北インアウトバウンド連合会を創立、理事長に就任。2018年、株式会社インアウトバウンド仙台・松島、を創立、代表取締役に就任。
「オール東北」で観光地づくりに取り組んでいる。
・株式会社インアウトバウンド仙台・松島 <http://www.inoutbound.co.jp/>
・たびすけ合同会社西谷 <http://www.tabisuke-hirosaki.jp/>
・西谷雷佐ブログ <http://nishiyaisuke.tabisuke-hirosaki.jp/>

ブログはこちら

「南紀熊野観光塾」塾長挨拶<塾の目的>

今年で6期目を迎える南紀熊野観光塾は、「選ばれ続ける地域」をモットーに、魅力的で持続可能な地域づくりの仕組みを担う中核的な人材を育成することを目的とした塾です。「選ばれ続ける地域」では、住民が誇りを持って幸福に、そして楽しく暮らしています。つまり、幸せを感じることができる「感幸地」が「観光地」をつくるということができます。では、どのような地域をめざせば住民も訪れる人々も幸せを感じることができるようになるのでしょうか。南紀熊野観光塾では、それを本質から考え抜くとともに、さまざまな分野から参加された塾生の方々の間でじっくりと意見交換をしてきたいと考えています。あらためて地域づくりや観光について学び直すだけでなく、生涯にわたって一緒に活動することができる同志を見つける場としても大いに活用してください。

南紀熊野観光塾 塾長：山田 桂一郎 (やまだけいいちろう)



「南紀熊野観光塾」塾長紹介

講師：山田 桂一郎 (やまだけいいちろう) 和歌山大学観光学部観光学科 教授

2005年に観光カリスマ (内閣府・国土交通省 (観光庁)・農林水産省 認定)：「世界のトップレベルの観光ノウハウを各地に広めるカリスマ」として、これまでのヨーロッパを中心とした環境保全 (環境保全活動プログラム、環境教育、環境アセスメント等、海外在住者として初めて日本の環境省に登録された環境カウンセラー) と世界各地における滞在プログラム・ツアーの実施と観光・集客交流の事業化、マーケティングの経験を活かし、観光・地域振興 (まちおこし)・自立型地域経営、サービス向上、人材育成や中心市街地・商店街活性化等) に関する講演やセミナーの講師として全国各地から招聘されている。また、日本国内でも地域振興・再生のコンサルタントとして様々な事業化 (特に地域経営マネージメントの組織化) を進め、多方面で積極的に事業活動を展開し、多くの実質的な成果と結果を残す。民間企業やNPO法人の他にも多くの省庁や地方自治体の委員、プロデューサー、コーディネーター、アドバイザーを務め、大学や高等教育機関でも教鞭をとっている。近年は観光庁「訪日観光セミナー」講師、ミシュラン・グリーンガイドの取材コーディネイトも行う。2011年には週刊日経ビジネス誌において「次代を創る100人」の一人として選出された。欧州では、ヨーロッパ・アルプス並びにスイス全土に渡る取材・撮影のコーディネーター、ライター (日本旅行作家協会会員)、ビデオカメラマン、通訳としても活動。冬は、現地で唯一の日本人スキー教師。夏は、ハイキング、トレッキングガイドでもある。スポーツに関しては、山以外でもセーリング (ヨット) 競技の元団体選手であり、パラグライダーでも空も飛ぶ。陸海空の全てをフィールドとしている。

塾長プロフィール

- 1965年 三重県津市生まれ
- 1987年 スイス・ツェルマット観光局 日本人対応インフォメーション、セールスプロモーション担当
- 1992年 JICSWISS (スイス 日本語インフォメーションセンター) 設立
- 1996年 環境省環境カウンセラー (事業部) として登録、ヴァレー州観光局日本・アジア向けプロモーション担当
- 1999年 Mt.6ベスト オブ ザ クラシック マウンテンリゾート 環境政策とCS 顧客満足度推進 顧問就任
- 2003年 環境省環境カウンセラー 市民部門
- 2004年 特定非営利活動法人 日本エコツーリズム協会理事、まちづくり観光研究所所長研究員
- 2005年 内閣府、国土交通省、農林水産省認定「観光カリスマ百選」認定
- 2006年 日本エコツーリズム協会環境推進委員
- 2010年 総務省「地域力創造アドバイザー」
- 2011年 和歌山大学産学連携研究センター客員教授、北海道大学観光学高等教育センター客員准教授
- 2014年 にっぽん放送のみこみ協会代表
- 2015年 内閣府官房「地域活性化伝道師」、和歌山大学教育研究アドバイザー
- 2016年 内閣府官房「クールジャパン地域プロデューサー」、北海道大学観光学高等教育センター客員教授、奈良県立大学客員教授
- 2016年 ジャパンエコツーリズム推進協議会理事
- 2017年 和歌山大学南紀熊野サテライト 客員教授

「南紀熊野観光塾」講師紹介

講師：出口 竜也 (でぐちりゅうや) 和歌山大学 観光学部観光学科 教授

1964年石川県金沢市生まれ。1987年富山大学経済学部卒業。1991年神戸商科大学、現在兵庫県立大学、大学院経営学研究所博士後期課程を中退し、徳島大学総合学部専任講師に就任。同学部助教授を経て、2007年和歌山大学経済学部観光学専任講師に就任。2008年より現職。専門は経営戦略論、観光経営論、近年は、人間的アプローチによる経営学研究や産業集積研究に高い関心を持っている。また、観光産業集積研究センター (SIARC) 理事、いぎ文化交流デザイン研究所理事、日本うどん学会評議員など、幅広い分野で要職を務め、学際的な活動を続けている。

【著書】「日本の経営の本流―松下幸之助の思想と戦略― (共著、PHP 研究所 1997年)」、「ケースブック現場イズムの海外経営 (共著、白桃書房 1997年)」、「社員の経営人観学 (共著、東方出版 1999年)」、「経営学への旅立ち 共著、八千代出版 2001年」、「企業博物館の経営人観学 (共著、東方出版 2003年)」、「ケースブック・ビジネスモデルシンキング 共著、文芸堂 2007年」、「経営戦略の基礎 共著、東京経済出版 2007年」、「金社文化のグローバリゼーション (共著、東方出版 2007年)」、「新グローバリゼーション論 共著、白桃書房 2007年」、「経営理念―継承と伝播の経営人観学研究― (共著、PHP 研究所 2008年) など。

講師：竹林 浩志 (たけのこうし) 和歌山大学 観光学部観光学科 准教授

1970年大阪府生まれ。1995年関西大学大学院卒業。2000年関西大学大学院工学研究科博士課程後期課程を単位取得後退学し、大阪府立大学 現大阪大学大学院 観光学専任講師に就任。同学部助教授を経て、2007年和歌山大学経済学部観光学専任講師に就任。2008年より現職。専門は観光戦略論、経営戦略論、リーダーシップ論。近年は、観光地運営における戦略主体の移転や組織の凝集力などを中心とした経営学研究に高い関心を持っている。また、観光庁「観光地づくりに関するガイドライン検討会」委員も務めた。

【著書】「現代のチーム制―理論と役割― (共著、同文館、2003年)、トライブ「観光経営戦略―戦略策定から実行まで― (共著、センター・ジャーナリング、2007年)、「ホーン実験の研究―人間性の探求― (共著、同文館、2008年)、「観光入門―観光の仕事・学習・研究をつなぐ― (共著、新報社、2011年) など。

講師：此松 昌彦 (このまさひこ) 和歌山大学 教育学部 教授

1963年東京都生まれ。1987年東海大学海洋学部卒業。1996年大阪府立大学大学院理学研究科後期博士課程を単位取得後退学し、香川県年代学研究所へ就職。1999年和歌山大学教育学部助教授に就任。2008年より現職。2010年より和歌山大学防災研究センター 長を併任。専門は地質学・古環境学・防災教育、和歌山県では新生代の地質、特に第四紀の古環境について研究している。学校や地域での防災教育プログラムを開発している。最近南紀熊野ジオパーク推進協議会の学術専門委員として、南紀熊野ジオパークをサポートしている。ジオパークから地域住民が、住んでいるところの自然史を学び、災害に対して備えるためのプログラムを研究している。

会場アクセス (和歌山大学南紀熊野サテライト所在地)

〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町 3353-9
和歌山県立 情報交流センター ビッグ・ユー内

■JR利用: JR紀勢本線 BigU最寄駅、JR白浜駅。
大阪方面から新大阪より約2時間30分

■自動車利用: 阪和自動車道
田辺ICより、国道42号線方面
または上富田ICより国道42号線方面

■専用駐車場有



応募要項 ※募集人数と費用について

塾生募集は15名様迄

(応募者が多数の場合は抽選となります。ご了承ください。)

- ①募集対象: 全ての回に参加が可能な方、高校生以上の方
- ②会場までの交通費、宿泊費、体験費、食費等の費用は自己負担です。
- ③会場費用、テキスト代費用など参加費用として実費10,000円を初回徴収いたします。
別途1月に塾生コースを開催する予定です。
興味のある方は事務局までお問い合わせください。

※記載の内容は変更することもあります。予めご了承ください。



平成30年度 南紀熊野観光塾【基礎コース】 参加申込用紙

基礎コース専用申込用紙【11/24(土)17:00締切】※必要事項をご記入の上、FAXまたは記載内容をメールにてお申込みください。

フリガナ お名前:	年齢:
住所:	性別: 男・女
電話番号:	
電子メール:	所属:

※この申込みの情報は開催の目的以外では使用しません。

お問い合わせ先

和歌山大学南紀熊野サテライト

TEL:0739-23-3977 FAX:0739-23-3978

メール: nankuma@center.wakayama-u.ac.jp

■開室時間: 10:00 ~ 17:00 (日・月・祝祭日等休み) <http://www.wakayama-u.ac.jp/nanki-kumano/>

〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町 3353-9 和歌山県立情報交流センター Big・U内 102号室



NANKI-KUMANO-KANKOJUKU

南紀熊野観光塾 vol.6

~いま、求められる観光中核人材を考える。次世代の地域経営~

平成30年開塾



南紀熊野観光塾 塾長: 山田 桂一郎

なぜ、地域振興に観光が必要なのか

~観光振興の本質と広域連携を学ぶ~

第6期生募集【基礎コース】15名

平成30年
11/29
Thursday
木曜日

平成30年
11/30
Friday
金曜日

会場

〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町3353-9
和歌山県立情報交流センタービッグ・ユー
情報実習室2

開催日	基礎コース 平成30年 11月29日(木) 13:00~18:00 11月30日(金) 10:00~16:30
申込締切日	平成30年11月24日(土)17:00
参加条件	全ての回に参加する意欲の有る方 高校生以上の方(学歴等不問)

「南紀熊野観光塾」とは、「選ばれ続ける地域」をモットーに、南紀熊野のあるべき姿をみんなで考える塾です。魅力的で持続可能な地域づくりの仕組みを担う中核的な人材を育成することを目的とした塾です。人々が地域の魅力に気づき、誇りを持って幸福に暮らすことができれば、おのずとそこには観光客がやって来ます。では、どのような地域になれば人々は幸福になれるのでしょうか。この塾では、それを根本から考え抜くとともに、さまざまに分野から参加された塾生の方々との間でじっくりと議論していきたいと考えています。あらためて地域づくりや観光について学び直すだけでなく、同志を見つかる場として大いに活用してください!

※次の方々にお勧めの塾です。

観光業従事者	観光振興の担い手	地方公共団体	ジオパーク担当者
若手起業家	観光案内者	まちづくり担当者	旅館経営者
地域振興団体	地域住民の方	観光に関心のある大学生・高校生	
商工関係者	インストラクター	地域づくり担当者	ガイド、語り部

主催: 和歌山大学南紀熊野サテライト

共催: 和歌山大学観光学部

後援: 和歌山県